

## ◆東亜日報の中心的価値

# 東亜日報

### 東亜日報の宣言

東亜日報は、1920年創刊以降民族の独立、民主主義の実現、文化の発展、自由と責任が調和する社会建設に貢献しました。「不偏不党」と「是是非非」の精神で言論の社会的な責務を果たす為に努力しました。

常に権力を監視・牽制し、これからも権力批判の道を歩みます。

東亜日報は、知識情報社会とメディア融合の時代を迎えて大韓民国を代表する政治論評紙としてその役割を果たします。インターネット、モバイル、デジタルマルチメディアなどニューメディア分野をリードする媒体に対応していきます。21世紀は、高度な知識と情報が最高の国際的競争力となります。東亜日報は、「不偏不党」「是是非非」の伝統を継承し、ニューメディア技術に対応し韓国を代表する新聞として使命を果たします。

### 東亜日報の3大社是

1920年創刊から現在まで、東亜日報には「民族主義」「民主主義」「文化主義」の3大社是が続いています。

民族主義は、東亜日報が特定階層の代弁機関でなく民族全体の新聞であることを表明します。

民主主義は、政治を超えた人類の基本原則・基本精神であることが東亜日報の確信です。

東亜日報の文化主義的伝統は、芸術の発展はもちろん富の増進、政治の成熟、道徳的純粋さ、宗教の豊かさ、科学の発達など個人生活を豊かにするものが文化であるという考え方から出発しています。

### 東亜日報の報道原則

東亜日報は、民族の代表であるという読者との約束を守る為に正確・公正な報道原則を守ってきました。東亜日報は常に権力を批判してきました。読者が知るべき真実の前ではどのような圧力にも屈しませんでした。

東亜日報は80年を超える歴史の中で、権力を監視し批判する言論の基本的義務を怠りません。帝国主義日本の圧力に対して闘い4回におよぶ停刊と廃刊に見舞われ、軍事政権時代には民衆の声を代表し数多くの記者が投獄されたり解職されるという痛みを経験しました。東亜日報の報道原則の精神は今後も継続します。

### 東亜日報の論評原則

東亜日報の論調は、読者との交流を通して市民社会をリードする世論交流の場の機能を果たしています。東亜日報の論評は公正です。東亜日報は特定の利害集団に偏らず「不偏不党」の精神、正しいことを正しいと言い、間違ったことを間違いと言う「是是非非」の精神で堂々と正論を歩みます。

### 東亜の遺伝子

「民族主義」「民主主義」「文化主義」東亜日報の3大社是は、今日の東亜日報の全ての構成員に「東亜遺伝子」として継承されています。権力を牽制し監視する批判精神、真実を追求する粘り強い記者精神、疎外された人々の痛みをわかちあうヒューマニズム、変化を恐れない革新の精神です。Sohn Kee chung選手の日の丸抹消事件、Rhee syng-man政権を倒した4.19革命報道、「自由言論実践宣言」発表、白紙広告事件、Park jong chul君拷問事件の報道などがこの精神の良い事例です。